

はじめに

埼玉県立文書館は埼玉に関する歴史的・文化的に価値のある行政文書・古文書・地図などの記録資料を収集・保存し、県民共有の財産として広く公開することを目的に、昭和四十四年（一九六九）の開館以来、活動してまいりました。

この度、当館職員等各執筆者が業務等を通じて深めた調査研究の成果を『文書館紀要第三十七号』としてまとめ、発行する運びとなりました。

本号には、中世の武蔵武士である安保氏の動向を中心に十五世紀の関東の情勢を当館所蔵の「安保文書」から検討した論考や伊勢参詣に関する論考、資料紹介として愛知県に所在する県内の岡部(半原)藩藩校に関する資料や当館の追加公開古文書から新聞製本資料の紹介、さらに近年一五〇年を迎えた学制関係で、当館所蔵の学校アーカイブズ資料である「埼玉県教育史移籍文書」から戦中期の通達文書に関する論稿等を収録しました。

本書が、埼玉の歴史と文化に理解を深めるための一助となれば幸いです。

最後になりましたが、当館の事業に対し御支援・御協力を頂いております関係各位に心から御礼申し上げますとともに、今後とも一層の御支援・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和六年三月

埼玉県立文書館長 福沢 景